

匝瑳市の誕生を祝う1年

皆さまご無沙汰しております。昨年12月号以来、約4カ月ぶりの「つぶやき」コーナーでございます。1月号は20周年のあいさつ、2月号は市長選挙、3月号は2期目のあいさつが紙面に入ったことから、このコーナーをお休みさせていただきましたが今月号からは、再び日々の思いなどをつぶやいてみたいと思います。

あらためまして、2月に行われました匝瑳市長選挙におきまして、市民の皆さまからの信任をいただき、2期目の市政運営を担わせていただくこととなりました。少子高齢化の進展、社会・経済情勢の著しい変化により、本市を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。難しい舵取りとはなりませんが、これまでの経験を糧としてさらに一歩踏み込み、果敢に政策を前進させるという決意のもと、財政基盤の強化と合わせて挑戦を続けてまいり所存であります。引き続きのご指導・鞭撻をよろしくお願いいたします。

先月28日、2期目最初の大仕事となる匝瑳市制施行20周年記念式典を挙行了いたしました。式典は匝瑳市のこれまでの確かな歩みと未来への希望が感じられるものとなり、成功裏に終えることができました。20周年という大きな節目を迎え、感じるのは市民の皆さま一人ひとりの地域への深い愛情と熱意であります。本市がここまで歩んでこれたのは、ひとえに市民の皆さまの協力があったものであります。ここ

に改めて深く感謝と御礼を申しあげさせていただきます。誕生から20年。今年は各種行事に「匝瑳市制施行20周年記念」の冠をつけて、今まで以上にイベントを盛り上げてまいりたいと考えています。その一つとして「第43回全国削ろう会千葉匝瑳大会」を11月末に八日市場ドームにおいて開催予定です。全国削ろう会は、鉋削りを中心に、手道具や伝統技術の可能性を追求する組織で、大工をはじめとする木造・木工関係の職人だけでなく、道具を作る鍛冶職人、さらに一般の手道具愛好家も参加し、競技・交流を通じて日本の木造建築や木工芸の技術・文化を次世代につなげていくことを目的に活動しています。匝瑳市で行われる全国大会。多くの人にこの大会を知っていただき、DIYやモノづくりに興味がある人はもちろん、多くの人が本市に来てくれるよう、大会を大いに盛り上げてまいります。



11月の全国大会に先立ち、4月26日（日）に、プレイイベントが市民ふれあいセンターで開催されます。伝統技術を身近で見ることが出来る機会ですのでぜひ、会場まで足を運び、ものづくりに懸ける熱い思いなど感じていただけると幸いです。

匝瑳市長 宮内康幸

匝瑳探訪 匝瑳普通学校址

八日市場を歩く

知人から和綴じ本の「漢籍」を所蔵するとの連絡があり、拝見することができました。30数冊のうちの何冊かに当時の所有者名が記され、それらの没年により幕末から明治初期にかけて高村にあった寺子屋か私塾で使われたものだろうと推察できます。

その中に「中等漢文定本」（明治44年発行）があり、裏に「匝瑳普通学校生徒」と書かれていて、同校で使用した教科書であることがわかります。

万町・見徳寺境内に隣接して、正面に「匝瑳普通学校址」、側面に同校の由来が刻まれ、昭和53（1978）年1月に同窓生一同が立てた角柱があります。

側面には「明治三十七年（1904年）匝瑳普通学校を松山に創設し、大正八年（1919年）この地に新校舎

を建て、卒業生三千名を数えて地方教育文化の為貢献する処極めて多くここに校友相語り永代に記念す 校長松山英胤」と刻まれています。

創設者の松山英胤は松山神社の神官でもあり、神社境内に私立の中等教育施設「匝瑳普通学校」を開設（開設年を明治38年とする記録もあり）、同38年度の生徒数60人、修業年限は3カ年、その後毎年60人ほどが入学し、重点科目の国語、数学、英語を数名の教師が指導しており、当時の統計書を見ると入学者数に対して卒業生が少ない傾向が見られます。

開校から10年余りを経て、匝瑳郡教育会は同校を財団法人匝瑳普通学校とし、校舎の移転を決めました。大正8年1月から八日市場町の新築校舎に移ったものの、同14（1925）年に火災（火災を昭和9年2月とする記録もあり）に遭い、前年に開校した県立匝瑳中学校（現・匝瑳高等学校）の影響などもあってか、生徒数も減少し、昭和10（1935）年に自然閉校になったとされます。

匝瑳普通学校を伝えるものは、この石碑のほか松山神社境内の松山英胤の頌徳碑などがあります。

（市文化財審議会委員・

依知川雅一）

関秘書課広報広聴班

073・0080



匝瑳普通学校址

短歌

依知川 雅一 推薦

鳥たちのかわいい鳴き声ききながら

ソメイヨシノは春まで眠る

鈴木 志子

白梅と河津桜並びおり

隣家の庭はいつもの春に

古谷由美子

桜餅口から鼻へ巡る春

弥生の夜半に月を見上げつ

大木 洋一

義兄を介護する老姉の

後姿は小さくなりて

木下 昌子

久方の傘の出番の一日が

恵みの雨と言われる空が

小川 一夫

風いでて黄昏時に香を立たす

今年の白梅おくれて咲くも

宇野とし子

寒中の味噌つき仲間集い来て

二日限りが何とも楽し

高橋百合子

石田 健治 推薦

柗木の葉っぱに込める思い事

健康継続家内安全

伊橋 裕子

マフラーにマスク手袋眼鏡して

大き夕つ陽ひとり占めする

伊橋 良子

俳句

椿 和枝 推薦

朝の風ミモザの鉢のころげ来る

麗かやステツプ揃ふ発表会

岩井 やす

数学の入試問題風光る

佐々木之子

鳩鳴いて低く飛び立つ荒れ田かな

吉井 ハル

白梅を散らす雀の脚速し

那須 恒雄

ミモザ咲く今はもうない古木屋

椎名 晴江

古雛や夜更けの内取母偲ぶ

鈴木 志子

石田 健治 推薦

大寒や笑顔で振られるあなたの手

啓蟄や撒く堆肥にもそのそと

伊藤伊之助

川柳

勝又 康之 推薦

花見して食べる弁当桜ずし

歩きます花の名所を元氣出し

伊藤徳太郎

パンダいず咲いた桜も淋しそう

桜花出会い別れの寂しさよ

渡部すい子

花見宴マイク放さず大音痴

春風に桜舞い散り子らはしやぐ

大木きみ子

桜咲き短い春を追いかける

働いて働き過ぎて手を痛め

江波戸京子

石田 健治 推薦

家計簿のお米の値段幅きかせ

働いて働き過ぎて手を痛め

土屋 秀雄

てっ幹

地域おこし協力隊通信

第13回



今月の担当は鈴木優介隊員／1999年生まれ。匝瑳市出身。大学卒業後、企業のメディア事業部で動画制作業務などを経験。現在、フリーランスとして動画制作業務などに従事。匝瑳市を盛り上げるため、さまざまなイベント情報を発信中。



ジャンル・市町村の垣根を超えた活動「奥千葉プロジェクト」

山武・成田・香取・海匝地域など千葉県北東部の魅力を発信する「奥千葉プロジェクト」。代表を務めるのは、横芝光町出身プロベーシストの依知川伸一さん。私自身、地域活動を通じて知り合いましたが、音楽を軸に地域をつなげようとする行動力にはいつも刺激を受けています。

同プロジェクトは、2月に地域の特産品や文化を紹介する「魅力発信イベント奥千葉の恵み」を成田市で開催。

匝瑳市では「10代のためのバンドフェス」を実施し、若い世代が音楽を通して地域と関われる場が生まれました。

地域の取り組みは、一つの市町村だけで進めるには限界があると思います。だからこそ奥千葉という広域の視点で人や活動が繋がっていくことには大きな可能性を感じています。次回は、5月24日(日)に市民ふれあいセンターで音楽イベントの開催が予定さ



れています。こうした動きが地域の新しい魅力づくりにつながっていくことを期待しています。